

新飯能

発行 日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江 972-6401
山田とし子 973-4710
新井たくみ 978-0175
滝沢おさむ 972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

第9回

なんでも相談会 サラ金、不払いなど次々

「なんでも相談会」が
宮本会館で開催され、サ
ラ金や架空請求、賃金不
払いや税金、法律相談な
ど一〇名が相談に訪れま
した。

「市民の相談者となって
解決の手助けに」と日本
共産党飯能市議団と飯能
民主商工会・清流道場、
埼玉土建飯能日高支部が
連携し、弁護士、税理士、
社会保険労務士などの専
門家の協力を得て五年前
からまった「なんでも相
談会」は今回で九
回目となりました。



「自殺を考えた」
という人や「心配
で夜も眠れない」
という人も多く、
深刻な相談の解決
にあたってきまし
た。

須賀弁護士に相
談したAさんは、
「今までずっと悩
ま

んでいたが、相談してよ
かった。安心しました」
と明るい笑顔で帰って行
きました。

県内四〇市の政務調査費 透明性の高い飯能市

このほど市民オンブズ
マンが、県内四〇市の市
議会議員の政務調査費の
市民負担と透明性を調査
し、明らかにしました。

これを見ると、飯能市
の住民負担が最も低く、
透明性も高いことが明ら
かになりました。

市名	支給月額(万円)/議員	住民1人当りの経費負担(円)	領収書	実績報告書様
さいたま市	34.0	218.8	△	
川口市	18.0	172.5	×	
草加市	9.0	135.6	○	
川越市	8.0	115.2	×	×
吉川市	2.0	99.8	○	×
鳩ヶ谷市	3.0	108.5	○	×
戸田市	4.0	110.0	○	×
所沢市	7.0	89.02	○	×
蕨市	3.3	101	○	×
深谷市	2.5	72.8	○	×
秩父市	1.4	71.1	○	×
久喜市	2.0	72.0	○	×
本庄市	1.6	69.8	○	×
八潮市	1.7	66.5	○	×
志木市	2.0	66.6	○	×
坂戸市	2.0	62.4	○	×
和光市	2.0	70.3	○	×
蓮田市	1.5	56.1	×	×
鴻巣市	1.75	52.1	○	×
越谷市	4.0	48.2	○	×
朝霞市	2.0	53.4	○	×
三郷市	2.0	47.7	○	○
新座市	2.0	47.4	○	×
東松山市	1.5	43.9	○	○
羽生市	1.2	40.0	○	×
上尾市	2.5	42.8	○	×
日高市	1.0	38.9	○	×
加須市	1.2	37.8	○	×
入間市	2.0	38.4	○	×
富士見市	1.67	40.1	○	×
行田市	1.0	32.6	○	×
狭山市	2.0	36.1	○	×
北本市	1.0	33.8	○	×
桶川市	1.0	33.5	○	×
幸手市	1.0	32.8	○	×
熊谷市	1.5	33.3	○	×
鶴ヶ島市	1.0	30.8	○	×
春日部市	1.65	29.4	○	○
ふじみ野市	1.0	29.9	○	○
飯能市	0.83	27.4	○	○

飯能市は、議員一人あ

り、ホームページ上で政
務調査費の実績報告書を
掲載し、公開しています

は、「日
本共産党
飯能市議
団」で検
索できま
す。



年にも二回の相談会だけ
では限界があることから、
民商・清流道場は毎週水
曜日に多重債務の相談会
を行っています。また、
日本共産党飯能市委員会
は、市民生活を守る先頭
にたつていこうと「困っ
たことは日本共産党へ」
のポスターを作成してい
くことにしています。

たりの年間支給額は一〇
万円、住民一人あたりの
負担は二七・四円で最も
低くなっています。

市議団のホームページ
は、
本共産党
飯能市議
団」で検
索できま
す。

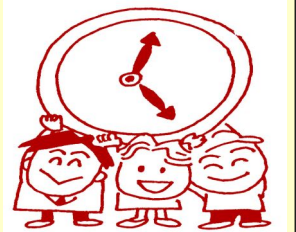
労働基準法 どうなるの

増えるただ働き どうするの？

ホワイต์カラーエグゼンプション、偽装請負、
ワーキングプア、格差社会…疑問を解き明かし、
安心して働ける職場をつくりましょう。

3月6日 (火) 午後6時～

飯能富士見公民館
講師 生熊 茂実氏
全労連副議長
JMIU執行委員長
主催：新電元明るい職場をつくる会



波 紋

日本共産党の志
位委員長は今年
一月の第三回中
央委員会総会で、
「韓国では若い
世代も日本によ
る植民地支配時
代の歴史的事実
を詳しく知って
いるのに対して、日本
はあまりに事実が知られ
ていません」と、日中
も日韓でも歴史認識を共
有することが東アジアの
平和と友好の土台である
ことを強調しました▼麻
生外相は米議会会で従軍
「慰安婦」問題について
日本政府の公式な謝罪を
求める決議案が提出され
たことに「客観的な事実
に基づいていない、はな
はだ遺憾なもの」と発言、
過去の戦争に無反省な自
民党政治の異常な体質を
うきばりにしました▼韓
国の各党はハルモニ(お
ばあさん)の憤怒に対し、
謝罪ではなく否定するこ
とで一貫する日本は、二
十一世紀の先進国なのか
疑わざるをえない」と述
べるなど、相次いで麻生
発言を批判する立場を表
明しています。決議案を
提出したホンダ議員は
「ひるむことなく(過去
の)悲劇と不正義を教え
る事が和解にはかせな
い」とその理由を説明し
ています、そのとおり
だと思えます。

今が定番です

地域の労働センターとして

飯能日高地域労働組合連合会

飯能日高地域労働組合連合会（飯能日高地域労働連）は、飯能市、日高市を活動エリアに一九九五年十一月に結成されました。

当時の全国的な労働戦線再編成の動きの中で、飯能地区労が連合に吸収され、地域の労働運動の中心部隊が消滅したことから、労働運動の階級的民主的伝統を受けついで結成されたものです。

現在の構成は、オプザーバーの組合を含めて十一労組で、組合員は一六〇〇人を越えています。地労連では民主団体と



昨年の地域総行動

ともに、毎月二月に春闘の地域総行動に取り組み、五月一日にはメーデーの集会と市内のデモ行進をおこなっています。春闘においても、労働組合だけでなく多くの民主団体にも加わってもらい、幅広く市民的な課題についても取りあげ地域春闘として闘ってきました。この他にも日常的に労働組合結成の援助や労働相談、労働争議の支援、地域住民の諸要求などをとりあげ、その実現のために活動しています。かつては名栗村の合併問題や、「九条の会・飯能」の結成に取り組み、現在は飯能市立病院入院施設廃止反対の問題や日高消防署の分署問題にとりくんでいます。

今後、パートや派遣など非正規労働者、未組織労働者が急増する中で、地域の労働組合のセンターの役割が益々重要になってきています。

地方財政シンポジウム 自治体には本当にお金がないのか

飯能日高地域春闘共闘会議では、二・二一地域総行動として、二二日に「自治体には本当にお金がないのか」と題するシンポジウムを開催しました。

まず、渡辺茂博氏（埼玉自治体問題研究所理事・上尾市開発課主幹）から、「自治体財政の現状をどう見るか」として基調報告があり、「国の三位一

体の改革の中で、特に平成十六年から自治体財政は新たな局面に立たされている」として、「これまで、歳入の不足は地方交付税で補うというシステムがあった。それがほとんどの自治体で歳入の減と地方交付税の減という状況が生まれた。国



ミニマムとして全国の一程度度の社会保障水準という考え方のもとに財政的な支援があったが、その機能を喪失してしまつた。これからの市民運動として、人権保障こそ自治体の仕事という課題の追求が必要だ」とのべま

した。この中で、夕張市の財政破たん問題についてもふれ、「国の責任は重大、同時にこの問題を引き合いに、第二の夕張

雇い止めや賃金不払いなどの相談、また一人でも加入できる組合も紹介しています。いつでもお気軽にご相談ください。連絡先九七四一〇三三〇（埼玉土建内）

になるという脅しで住民要求を抑えようという動きが出ている」ことに注意を呼びかけました。続いて、パネラーとして新井巧市議が、「市政悪化の原因は国の三位一体の影響だけでなく、大規模開発の破たんのツケと無謀な区画整理事業や土地開発公社の土地取得、ムダな県水受水や必要のない庁舎別館建設などの問題がある」と指摘し、「しかし、この一年で平岡レース跡地の取得基金を十一億六千万円も積み立てることができ



わけではない」と述べました。このバイパスで利便性が大きく向上しました。十七日の祝賀行事では、地元住民ら四〇〇人が参加し、渡り初めを行いました。

続いて、パネラーとして新井巧市議が、「市政悪化の原因は国の三位一体の影響だけでなく、大規模開発の破たんのツケと無謀な区画整理事業や土地開発公社の土地取得、ムダな県水受水や必要のない庁舎別館建設などの問題がある」と指摘し、「しかし、この一年で平岡レース跡地の取得基金を十一億六千万円も積み立てることができ

で、片側三・五mの歩道も整備されました。総事業費は約十二億円で、平成十年に事業採択を受け、翌年から用地買収が開始され、九年の歳月をかけて完成しました。これまでは、幅員五mで車の往来が困難で歩行者も危険な難所でした。このバイパスで利便性が大きく向上しました。

労働法制改悪に立ち向かい 選挙戦で勝利しよう

新電元党支部が演説会

日本共産党新電元支部と同後援会主催の演説会が一四日、一丁目

クラブで行われました。秋葉末吉さんの開会の挨拶、山田とし子市議の市政報告のあと、しんぶん赤旗・国民運動部の四ヶ所誠一郎氏が、パート、派遣等の非正規雇用労働者が急増しその八割強が年収三〇〇万円未満という雇用実態。労働法制の全面改悪で、労働者を必要なだけ使い、いつでも使い捨てにできる働き方にする。あまりにも企業に有利な改悪



の自身に参加者は憤りを感じ「今日の内容を職場で広め、いつせいで地方選挙、参議院選挙を戦う力にしよう」と決意し合いました。